

---

# 歌の唄

ABYSS

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

歌の唄

### 【Nコード】

N7306Y

### 【作者名】

ABYSS

### 【あらすじ】

この小説？は僕がバンドのボーカルをされていて、オリジナルの曲を作ろう！ということになったので書き始めました。携帯で投稿しているので、改行がグチャグチャしていますが見てくれるとうれしいです。歌詞の感想やこうしたほうがいいとこのことがありましたら、ぜひ気軽に感想下さい！

## 幻ノ唄（前書き）

これはテーマを「夢」として気軽に作詞しました！

## 幻ノ唄

子供のころ描き続けた 幻想郷への夢 昔はまだ追い駆けていたり  
もして いつしからかとだえてしまったあの頃の思い いつか忘れ  
さられてしまうのかな 幼い日の記憶 よく冒険したりとか 一緒  
に笑いあったりしたこと 幻想郷なんか無いってバカにされたあの  
日 けど見えた気がしたんだ 「めのまえ」だけを見続けて 彼方  
へと霞んでしまった 結局、今の自分と同だったんだ

大人になり薄れていた 幻想郷への夢 今はもう追い駆けてい  
ない やつと気付いたんだと思う 自分でも分かった けど忘れ  
られなくて 心の底でダラダラと思い続けていたんだ 胸の中にポ  
ツカリと 空いてしまった虚空 カラツポの両手で手探りしたこと  
すべて嘘だったのかな 現実という名の「鎖」にとらわれて見失  
ってしまった 結局、昔と何も変わってないじゃんって

思えばいつ頃だろう 幻想郷なんて夢を見たのは 追い続けて  
も 追い続けても 届かなかったなあ くだらない妄想だったけど  
あのころの僕はそれだけで救われたんだ 今だからこそ分かるこ  
とがある 夢は見えないもの それと同時に無限に描くもの じゃ  
あ幻想郷も同じじゃないのかな 自分の心の中で成長していく 拡  
がっていく 結局、側にあっただね

幻ノ唄（後書き）

夢〓幻想郷で書けてましたか？

## 救いの唄（前書き）

今回はテーマを「友達」に決め、シリアス調にしました。

## 救いの唄

地獄へといざなわれていく最中　今は一人で孤独のワルツを踊っている　他に参加者などいない　空寂としたホールで一人踊り続けている　ただ響くだけのステップ　迷宮にいるような重い足どり　まるで自分の心が迷ってる　そんな思い詰めた顔をしながら　離れていく心と身体かいた　相反する魂　永遠にさ迷っていた　世界と分離はなされたスペースで　踊り続ける愚者　自らの心を拒絶し時が止まったままのホール　突然開く扉は楽園への合図　だが手をとれないでいた　離れたくても離れられない　相互する心　戸惑いをかかせないでいた　ダンスホールに終末の銃声が響き渡る　自分に救いはこない　居場所がない　でもそれは虚実だと　君の手が教えてくれた　暗い深淵の闇の中　一筋の光が差していた　その光の名は「温もり」　ねえ、一緒に踊り明かそう　自分の心を受け入れ動き出したホール　開かれた扉は天国への門　そして手を差し出した　やっと外に出られたんだ

## 救いの唄（後書き）

一応のストーリーとしては「世界に絶望し、心の奥に閉じこもっている自分に救いの手がのびる。その時自分は・・・」といら内容です。絶望⇨地獄 心の奥⇨ダンスホールとしましたが、うまく書けてたでしょうか？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7306y/>

---

歌の唄

2011年11月21日23時49分発行